

委員会だより

<9月1日(日) 13名出席>

【1】財務報告：7,8月度決算報告(甲斐さん)
⇒ 委員会了承。 ・一般会計：7月度収支
= ¥-19,571 8月度収支= ¥-74,342 次月繰越金
= ¥910,755 ・建設会計：7月に、山崎神父
様より特別献金 ¥500,000を頂く。

【2】お知らせコーナー：

(1)卓球大会を、8/25に挙行。50名強の参加者で、
盛況であった。本年度は、青年の方々の参加が
多かったこと、例年準備で忙しい婦人会の方々
にも楽しんで頂けたことなどが特徴。尚費用は、
¥45,000(予算¥50,000)。ビール券等多くの寄付を
頂き感謝(宮崎さん報告)。
(2)夏期学校合宿：8/9(金)～10(土)の1泊2日(於中和
田教会)。対象者(7名)中、参加者は3名。天地創
造の紙芝居を作る等、楽しく学習した。

【3】お話し合いコーナー：

(1)バザーの段取り/準備の件：
・最近のO-157騒ぎなど、食べ物販売は一層の注意
が必要であるが、一応、例年通りの内容で進め
る。(材料仕入れ先の明確化合めて、手続き/
段取りの再見直し必要)
・9月14日の第1回バザー委員会に先立ち、保健所
に向いて色々話を聞いて来る。
(2)敬老の日のお祝い(9月8日)の段取り、準備の件
・進行係は井上さん、ご挨拶は、清水さん、清尾
さん(お子さん)、小谷さんをお願いする。
・受付、お祝い渡し等、婦人会小山さん、石井さん担当
・お祝い品は、ごミサ終了後にお渡しする。
・昨年通りサロンにご案内し、ご歓談頂く。
(3)青少年対策関係(小野寺さん)：
・青少年の皆さんに広報なかわだを送っている。
広報発行後、封筒に入れ聖堂入口に並べるが、
毎回20通程残ってしまう。極力手渡ししたく、
信徒各位のご協力をお願いしたい(小野寺さん)
・住所変更届出用紙も定期的に同封する。
・尚、封筒詰め、宛名貼りなどの作業で、レジオ
の皆さんの多大なご協力を頂いている。
(4)お聖堂の天井手直し：花坂さんが依頼中。
(5)ゴミ収集全量有料化：H9-1-1より全量有料化の
旨、区より通知あり。区に話を聞きに行く。
(6)下水工事：本管工事が終わり、個別の引込み工
事の段階に入った。松下さんをお願いした見積
では、総額約55万円。工事を実施する。
(7)防災用品：整備する方向で、検討を進める。
(8)「滞日外国人と連帯する会」の催し(藤沢教会等
5教会)案内が来た。申込締切は9月15日。

壮年会だより

<9月15日(日) 11名出席>

1. バザーの予定(日時 10月27日(日))
① 壮年会 提供食品
焼き鳥 800本(5本セット)
焼きイカ 100パイ 焼きそば 150玉
② バザー担当(責任者、敬称略)
焼き鳥：上野 焼きイカ：七浦
焼きそば：石井 チケット係：山田(依頼予定)
③ 食材購入は花坂さんに依頼
④ 食券と招待券を戸塚教会、町内会、二俣川教会、
地区センター、原宿教会、保健所に届ける
⑤ 10月26日(土) 10:00よりバザー準備実施。
2. 庭の手入れ
大きな木の手入れのみ(その他は婦人会にて実施して
頂いた。)11月を予定(10月の定例会で決定)
3. その他
椅子にサビが発生し、床に付着。対策案：①プラス
チックのガイドを付ける ②ビニールの保護帯 ③そ
の他案を検討。大掃除に間に合うよう処置したい。

婦人会だより

<9月15日(日) 28名出席>

I. お知らせと連絡網の変更
・永田麻理様が男のお子様を御出産さ
れました。おめでとうございます。
・転出：『お知らせ』欄ご参照下さい。
・C地区の久保田様(803-6440)を望月様の後ろに御
記入下さい。 D地区 松田様⇒楠田様
・石井様より大分トラピストのクッキーの案内があ
りました。今まで同様予約注文にて販売します。
(一箱2枚入り9袋(18枚)で330円)
・赤ワイン、白ワイン一本1300円 位田様にお申し
込み下さい。常時取り扱っています。
・同志会開催の御案内と呼びかけがありました。
詳細は阿部映子様にお尋ね下さい。
II. バザー関係
・バザー委員会の報告にて食品関係の取り扱い注
意事項を配布。食中毒防止に努めましょう。
・食券の価格決定。9月28日より販売
カレー 300円 お汁粉 200円
おでん 300円 ケーキと紅茶 150円
・10月7日(月)10:00より出品物の値段付け。
・10月24日(木)バザー用のケーキを焼きます。
・バザー前日、当日の分担表を後日貼り出します。
皆様の御協力をお願い致します。
・紅茶ティーバッグ、きれいな紙袋、ビニール袋
(大、小)がありましたら御寄付下さい。

次回例会 10月20日(日) 次回当番はD地区です。

ミサ当番表(96年10月、11月)

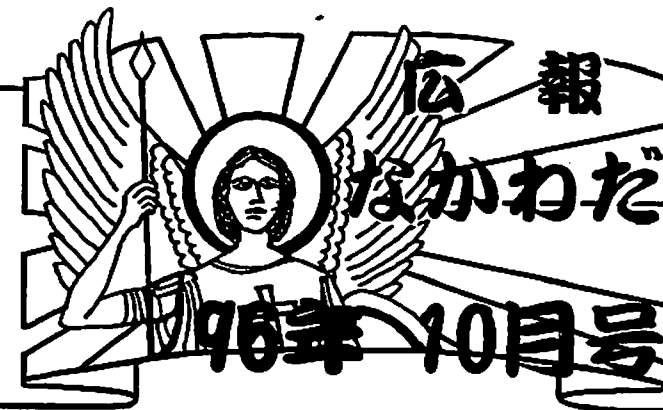
月/日	主日	朗読、奉納	オルガン	月/日	主日	朗読、奉納	オルガン	備考
10/6	年間二十七主日	七浦	岩淵	11/3	年間三十一主日	小野寺	岩淵	壮年会
10/13	年間二十八主日	青年会	石川	11/10	年間三十二主日	青年会	石川	青年会
10/20	世界宣教の日	婦人会D地区	森田	11/17	年間三十三主日	婦人会A地区	森田	婦人会
10/27	年間第三十主日	富田	大宮	11/24	王であるキリスト	宮崎	大宮	壮年会

※当番の方は10分前には集合して下さい。

※ご都合の悪い方は典礼委員までお申し出下さい。(萩原: Tel 802-6258)

今月の予定

(ロザリオの月)
委員会 10月6日
世界宣教の日 10月20日
バザー 10月27日
サロン 10月13日
レジオ 10月11,18,25日



第218回

カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141
1996年10月6日



模索の補冊 ②

山崎 正俊

はじめに、失敗話をつづけると、そう言われ
たので、そのつもりになり、ノートにも取ろ
うとせず、深刻にもならず聞き流してしまっ
た。——死は、いつかは誰でもがぶつかるも
のですよね。私にとっても怖いし、ちっとも、
嬉しいことではありません。私がためらって
いたので、司教様がその神父様に、ガンがひ
どくなっていることを告げてくださった。そ
の時は冷静に聞き、最後の「ゆるしの秘跡」
も「病者の塗油」もお受けになったそうです
が、その後で見舞った私を見たとき、声をあ
げて泣いてしまわれた。私は困りました。な
にも言えず、これは神様のなさることですか
ら、そのままその手を取り合っていただけで
した。死の準備なんて、どうしたらよいもの
か。いまでも、何もおもいつくことはありません。
ああ。

——禅の大徳、仙崖老師にだって、こんなこ
とが伝えられています。私の覚え違いですか
ね。死にとうないと、涙を流されたままだっ
たということが。長年にわたっておそばでお
仕えておられて、たまたまひとりで最後を
看取られた老女からの伝言があるのに、その
愛弟子たちには、いまでも認められようとはな
されていない(そのようなことなど、あのお
方にかぎっては有り得ないと言われ続けてお
り、私などには、どうして、そんなことが問
題になるのかと思われるような)ことだ。

——それでも、あのコルベ神父様の場合は、
死さえも、まわりにいた人たちにだけではなく、
いまでも、大きな感動を与えるものになる。
「そのとき」が、いくらかはやめられた
のにすぎないのであっても、受けとりかたに
よっては、別なる意味が見えてくる。これは
どうしたことか。単なる自然現象のはずのも
のでさえ、尊いものにさまがわりする。うら

やましい。
——親鸞上人のことで、信頼している石田瑞
磨老師の近著を知ってからこちら、何故か、
その刑罰は、政治的支配者からの公文書に記
されているものに依り、宗団内でのものはそ
の厳しさなど薄れてしまい、強くは責め切れ
ないものになってゆくことを納得させられて
しまった。法然上人は寛大なあつかいをして
おられる。ついには、えらそうなことも言わ
ず、ご自分の破戒のこともあったのかは明言
されないままに、私はこの方が好都合だから、
独り身を守っているのだと述懐されておられ
たことは覚えている。いずれの宗門において
も、いまではその戒めのことなど、忘れたよ
うに、「わしがうしろめたさを感じているの
は、この子がいるからだ、これはどうにも
ならぬ」。苦笑しながらも、ひざのうえの幼
児をあやしなながら雑談している法主のことは
聞かされていた。政治家には、ときとして政
治的(?)な問題にされて、その地位を追われた
ことも、二十年ほど前(?)だかにあったようだ
が、これは刑事問題とはちがった。ついでに
言えば(カトリックの中にさえ、怪しげな話
題は少なくないし)、私自身その点では、年
老いたことに心許してなどいないけれども、
有り難く感じている。

——いま、目前に座っているお方が、ご自分
をよく守っておられるらしい、僧籍であると思
えば、まして身近な話題であってみればな
おのこと話しくい。用語さえ適当なものな
いところで、生死にもかかわる微妙な言い
回しを、きちんとするなど、無理な話。これ
までさえもむづかしいことを、どこまでも守
りとおせる保証など、おぼつかないこととす
れば、あとはただ、「神様よう。どうかかし
てくだされ」と言うしかありません。



一隅を照らす者

小野寺 功

今年が宮沢賢治生誕百年ということで、日本列島がブームにわきかえった年であった。なぜ今宮沢賢治なのか、同郷の私にもわからないが、隠れた存在である私などまでが引っぱり出されて、書かされたり、話をたのまれたりするの、よくよくのことである。

九月二十三日は、私としては全く場違いな京都の比叡山延暦寺会館で、「大地の文学・宮沢賢治と私」という題で話しをすることになっていた。当日開始は午前十時からだったので、前日出発して、比叡平の友人宅に泊りして会場に臨むつもりだった。ところが新横浜駅に着いた頃から台風十七号が静岡あたりを直撃し、新幹線は全く動かなくなり、結局八時間以上遅れて、夜十一時過ぎ比叡平にたどりつくというハプニングがあった。

しかし翌日は、うって変わった快晴で、空は高く澄みわたり、比叡平からは京都市内と琵琶湖一隅を一望のもとに見渡すことができた。そして車で友人宅から延暦寺に向かう途中、何箇所か日本天台宗の開祖である最澄の「一隅を照らす者、これ国宝なり」という墨痕あざやかな標識が目について印象的であった。

ところで賢治は、岩手県花巻から東京へ家出した二十五歳の時、彼の身を案じた父親に誘われて比叡山を巡ったことがある。それで延暦寺根本中堂の近くには、「大師のみ旨成らしめたまえ」などと詠んだ歌を刻んだ碑が立っており、分骨された賢治の遺骨も納められているはずである。そして来る十月十三日には、賢治の実弟の清六さんを招いて、大法要を行う予定であるという。

私は講演を了えて、このあたりを散策しながら改めて考えさせられたことは、先程目についた「一隅を照らす者、これ国宝なり」という言葉の意味についてであった。これは文字通りとれば、国家にとって重要な真に宝といえる者は、「道心ある人物」であるということであろう。ではその宝ともいえる「道を求める志のある人間」とはいかなるものか。最澄はそれに答えて「一隅を照らす人物」がそれであるという。要するにこれは「あなたが今いるところで、まわりを照らす光となれ」ということで、まことにわかり易く、心に響くものがある。

考えてみると、最澄以来千二百年の歴史をもつこの山深い比叡山から、法然、親鸞、道元、日蓮といった日本仏教を代表する第一級の人物が輩出し、未だにその法燈は消えていない。そして法華経の精神を生きぬき、それを詩や童話など、社会的実践にまで表現していった宮沢賢治も、その末流につながるものといえるであろう。

そしてこれらの人物は、~~まことに~~単なる立身出世主義の中央指向ではなく、人間の本来あるべき姿である「一隅を照らす」ことに徹した人々であったといえる。それが今では逆に日本はおろか世界を照らす光となっているのである。

それ故、宮沢賢治の文字が他の日本の近代作家のそれと全く違うのは、彼の詩文学、社会的実践のことでなく、深い宗教的心情に根ざしているところにある。それはカトリックの信仰に生きる私たちにどうでも非常に参考になる点である。

またもう一つ賢治とその作品が、いまも多くの人に支持されているのは、「世界全体が幸福にならなければ個人の幸福はあり得ない」という「共生の思想」が作品全体の中に流れているせいではないかと思う。今はバブルの後遺症、公害やいじめの問題など、近代文明の根底が問われ、人間が人間不信に陥りかけている不安な時代である。だから心の安らぎを与え、人間本来の姿を思い出させる賢治の作品や思想が広く共感を呼ぶのであろう。

「一隅を照らす者」——比叡山を吹くこの風は、カトリック者である私の心をも、深く吹きぬけていたような気がして、私はしばらくこの賢治碑の前にたたずんでいた。

ご苦労様 そして、ありがとう



教会の庭がこのところ以前にも増して素敵に、そして美しくなりました。

マリア様の足元の花壇には、毎年季節毎にいろんな種類の花が、香りのよい花、珍しい花、可憐な花ととり混ぜて咲き誇っていますが、最近隣接地との境にも垣根に沿って土が盛られ、レンガ積み状の土止めが並んできれいに整備された花壇が出現しました。

まだ残暑がきびしいある日の昼下がり、教会に用事があって行きましたところMさんとNさんが、麦わら帽子をかぶった姿で、汗をかきかきこの新しい花壇造りに精を出しておられました。「ここに、またいろんなものを植えていくからね」とのこと。花壇の前に置かれた白いベンチのそばでは、Nさんのお孫さんが、バケツに張られた水の中で一人おとなしく遊んでいました。

本当にこれは「好き」だけではとても出来ないこと。Mさん・Nさんをはじめ何人かの方々の教会を愛する心、人々に憩いと安らぎをという奉仕の心が、そこにはあふれていたような気がしました。

日曜日は残念ながらこの新しい花壇の前は車でいっぱいになるので、十分楽しむことは出来ないかもしれませんが、皆さま是非とも平日に訪れて、ベンチにでも腰掛けて語らいのひとときを持たれては如何でしょうか。また、庭いじりのお好きな方や、お手伝いのできる方が時に手を貸してあげれば大きな励ましになるのでしょうか。 Y.

元気になりました

清水 聖

- 6/18 小林内科クリニック 検診 (健康診断)
- 7/2 同上 検診結果伺い、心電図に異常、検便に異常
- 7/8 同上 心臓負荷試験 良好
- 7/10 同上 注腸 X線撮影 疑問点あり
松島ランドマーク クリニック院長宛紹介状 (港未来ランドマークタワー7F)
- 7/11 同上 院長と面談、検診日予約 7/26と決まる
- 7/26 同上 検診、内視鏡検査、注腸 X線撮影
- 7/27 神父様にご報告、ご相談
- 7/28 臨時委員会開催
- 8/2 院長先生より検査結果説明、悪性ではないと思われる10ヶのポリープを発見
- 8/19 内視鏡による手術
- 8/26 手術後経過説明、細胞検査 良性、6ヶ月後残りポリープの摘出を行う。

最近体の調子も良く、気分も爽快、例年になく小生より家内を誘い健康診断を受けました。心電図に異常、大腸にポリープありと、些か心に動揺を受けました。小林内科クリニックにて、注腸による検査X線写真を15枚程撮影、一つや二つではない様子、早速に小林先生の紹介状を頂き、松島ランドマーククリニックへ伺い院長先生に面談、先生の予定表はビッシリ、半月後に診察日の予約がとれました。待つしかありません。内視鏡による診察、前回と同様注腸、X線写真、ポリープは10ヶはありますねと、つぶやく様な先生の説明、詳しくは細胞の結果が判りますので一週間後に説明をしますからと、仕事の方はアルバイト程度なので心配はありませんが、教会の方が何かと気がかりです。しかし7/7の委員会にて当面の問題点はクリアしてありますが、先生の話では引き続いて二回にわたって、内視鏡による手術をすると云われ、神父様にご報告ご相談を申し上げ、委員長代行について話し合いました。これは教会の皆様にご迷惑をかけるのではないかと、臨時委員会を開催、委員の方々のご承認を受け甲斐さんに代行をお願いしました。甲斐さんには教会活動そして運営をすっかりお願いしました。

今更と思いましたが、内視鏡治療の資料を勉強しました。安心して内視鏡による手術を受けました。痛くも痒くもありませんでした。偶然にも手術の前夜TV(TBS)にて日本技術の粋「内視鏡」を放映していました。「メイドインジャパン」の技術と日本人特有の器用さが結び付いた結果だと思いました。8/26先生より6ヶ月後連絡をしますので、普通の生活に入ってください、何か異常がありましたら来院して下さいと——ああ何かほっとした気持ちになり、ランドマークタワーの展望台に初めて昇って横浜の中心街を眺めました。神父様を始め皆様に色々ご心配をおかけして申し訳もありませんでした。術後経過も良くじょじょに体の方も回復して来ました。亦体を慣らしながらご奉仕をさせて頂きたいと思えます。

皆様からの励ましと励ましの言葉の中に最近ポリープを持っている人のパーセンテージが上がっていると聞きます。私は発見して呉れた医者に感謝しています。兎に角皆さん、検診の重要性を唱えます。老婆心まで。有り難うございました。(平成8年9月27日)

青少年コーナー



神様に感謝

石井 悠子

要理を勉強していて、ふと自分自身だけが満足しているのでは、と。ほんとうに子供達の心をくみとり、何が大切、何を教えるのポイントとして話しているかと問うことがあります。毎年、夏期学校のときに、山崎神父さまが「よし」とみなして初聖体を受けることになるのですが、何故か初聖体を受けたとたんに、日曜日に来なくなってしまうのです。どうしてなのかしら？洗礼により共同体の一員となり、共同体として祈る最も大切なミサ。そして私達を救うためにいけにえとなられたイエス・キリストをいただくご聖体。(姿こそ消されたイエス・キリストの御死去をよく考えるならば、当然の行為として喜んでいただくことなのに)

ミサにより共同体が一致し、聖体を通して神と一致し、皆がイエス・キリストに従い、回心する心で神と一致する。このすばらしい恵みに一緒に授かりましょう。

マザーテレサの言葉の「沈黙の実は祈り、祈りの実は信仰、信仰の実は愛、愛の実は奉仕、奉仕の実は平和」キリストの死にあやかった私達は、この言葉の意味をより深く考え、実行しようではありませんか。

カトリック教会の七つの秘跡がありますが、中でも、洗礼、堅信、叙階の三つは烙印といって消えることのない最も大切な秘跡です。特に幼児洗礼は親の信仰教育が問われるそうです。日々の生活の中で「神様への賛美と感謝」を心がけていきましょう。

- * 転出
須藤 由利枝・悠也・蘭 ⇒ 由比ヶ浜教会
247 鎌倉市梶原3-5-14 Tel. (0467)47-3284
高橋 とし子 ⇒ 戸塚教会(原宿分教会)
245 戸塚区原宿町75聖母の園Tel. (045)851-6053
久保田 敦子(新姓:玉城) ⇒ 大和教会
242 大和市下草柳8-18-13 ドムール鶴間105

- * 御逝去
マチルダ 伊藤 恵子 8月17日
- * 洗礼 及び転出(高松教区)
カタリナ 蟻塚 芽(メイ) (95.4.29生. 富田さんのお孫さん) 8月18日

- * 地番変更
カトリック中和田教会(10月21日よりの新地番)
泉区中田北一丁目 9-1
皆様の地番変更があれば、神父様までお知らせ下さるようお願い致します。

- * 10月はロザリオの月です。8時45分よりお祈りを始めますのでご参加下さい。